

第15回 運営推進会議 議事録

令和5年8月25日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」		
開催日時	令和5年8月25日(金)		
開催場所	デイサービスセンターよつ葉		
参加者	利用者 1名 利用者家族 1名 地域住民の代表 1名	知見を有する者 1名 地域包括支援センター 2名 事業所職員 2名	
議題	1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動		

会議録

1.運営状況

○介護度の内訳 令和5年7月31日現在 合計20名

要支援1:0名／要支援2:0名

要介護1:5名／要介護2:4名／要介護3:8名／要介護4:3名／要介護5:0名

2.事故・ヒヤリハット報告

・半年間で事故は3件、ヒヤリハットは3件

事故報告 R5年 5月 30日 11時 10分頃

【内容】入浴介助時、車いす移動中前輪と左足小指が接触している事に気が付かず、接触時痛みの訴えで気が付いた。直後は赤くなっていたが痛みはなく、帰りの送迎時にご家族様へ謝罪し、患部の様子をみるようお伝えした。

【対応】車いす移動時は短距離・長距離問わず、フットサポートへしっかり足を乗せ障害物に注意しながら介入する。

事故報告 R5年 6月 17日 14時 30分頃

【内容】S様が杖でテーブルを叩いた直後、I様が大声で「そんな物で叩くんじゃない！いい加減にしろ、バカヤロー！！」と、声を荒げていた所に入るも、S様はI様へ謝る事無く「ふ～んだ、いやだ」い為、陰悪な雰囲気となってしまふ。

【対応】S様は、最近家族の体調不良で入院している事を気にされており、I様へは、S様の精神的不安定を理解して欲しいとお願いし承知して頂けた。S様が振り回していた杖はデイ内での使用は禁止とし、移動は両手引き歩行対応に統一した。

事故報告 R5年 7月 15日 10時 30分頃

【内容】入浴後、脱衣所で右側の手すりに掴まり立ちで着衣する際にバランスが崩れ、背面側の凸状壁に背面をぶつけてしまい「痛い！」と、叫んでしまう。患部を確認するも内出血や傷はなかったが、鎮痛効果のあるメンターム(よつ葉用)を塗布して様子みた。掴まり立ちは問題ないと介護者側の思い込みがあった

為事故に繋がった可能性がある。

【対応】立位保持が不安定であった事を再認識できた為、見守りや声掛け一部介助を強化する事により、転倒予防に努めていく。

ヒヤリハット報告

○座敷で休養中、マスクを探し始めた利用者様が座敷から床へ降りる際にバランスを崩して膝付きから四つん這い状態となってしまった。直ぐにバイタル測定を行い、測定値の異常なく、歩行状態の異常や痛みの訴えはなかった。

○利用者様のお迎え時、ご家族様からレッグウォーマーが前日から紛失していると指摘を受け、前日の入浴着脱時は装着していた事を思い出す。くまなく探しても見つからず、お詫びと弁償を行った。

○帰りの送迎時、歩行器下ろしの際にリアドアがしっかりと閉まっていなかった為開きっぱなしのまま発車した所を乗車中の利用者様から指摘され、直ぐに停車し確認後しっかりと閉めた。周りにぶつかる等の事故はなかった。

事故やヒヤリハットが発生した場合は、その都度情報共有し、対策を提案して実行できるように連携している。似たような事例に関しては、繰り返しのないよう勉強会や研修等を取り入れてスキルアップ向上に繋げていくよう努める。病状や異常がある場合にも、ご家族様・ケアマネ・事業所との情報交換や相談等を積極的に行う事で早期発見早期対応に努め、事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めていく。

3.活動報告

○11月の介護フェア作品作り(折り紙壁飾り)

○口腔機能向上サービスの実施(歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導) 対象者:6名(内入院中2名)

8/21コマキ歯科より、6カ月評価の結果で、舌の乾燥状態・『パ』のお口の動きの速さ・ペロの圧力がそれぞれ低下しているとの事で、リンパ腺マッサージとペロの運動を強化するようコメントあり。

○脱水や熱中症対策として経口補水液(液状タイプ・ゼリータイプ)の常備、空調管理(エアドッグ稼働中)、掛物調整

○防災訓練の実施 (R5.3月:大雨で水害を想定した訓練、R5.9月地震による火災を想定した訓練)

○「子供110番の家」の指定 近隣住民や地域の子どもたち、父兄に挨拶運動や気軽に声掛け頂ける雰囲気作り(例えば…通りすがりの学生が手の洗淨やトイレを借りに来た)

4.感染症対策

R5年5月8日から感染症2類から5類へ移行した事による感染予防対策の内容変更

○お迎え時の体温測定(37.5℃以上の場合は来所を控えて頂く場合がある)

○ご利用者様は朝の検温が基本で、疑わしい症状がある場合は再検や抗原検査を実施し、職員の場合

は、症状がある場合や陽性者と濃厚接触があった場合のみ検温と抗原検査を実施し、陽性の場合は出勤停止

○送迎車にマスク・体温計を常備

○来所時の手洗い・うがい・消毒の徹底

- サービス時間中の職員・ご利用者様全員の飲食以外のマスク着用の徹底
- 入浴介助中の職員はマスク着用の徹底
- 感染症5類へ引き下げと同時にシールドカーテン中止
- 窓の開閉調整・空気清浄機・エアドッグ・扇風機での常時換気
- 布団や枕の定期的な洗濯や消毒、枕カバーは毎回洗濯
- 利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り・マスク入れ他)や掃除
- 玄関・脱衣所のカーテンは、定期的な洗濯・消毒
- シェーバーの刃やヘアブラシは個別用に変更
- 風邪症状や高熱者に対してバイタルチェック・必要に応じて抗原検査も実施し、家族やケアマネ・多職種等との連携を図る
- 感染者が出た場合は、他者との距離感の確保や隔離、介入者は防護服装着で対応

5. 質疑応答

①地域との関わりで、以前からお伝えしていますが、せっかくの機会なので、この場で話し合ってみてはいかがでしょうか？

高齢者の地域住民の中では、「あんなところ行くとちょっとね…」や「近くには行きたくない」等のデイサービスに対する偏見がある事を知り、しっかり伝える必要があると強く思いました。

デイサービスに対する地域住民への理解を深める為に、年に数回ある『生き生きサロン』を活用し、デイサービスセンター「よつ葉」での活動内容や目的を分かりやすく説明できるようにしていきたいと思っています。

6. 運営委員からの評価

(利用者)入ってからまだ日が浅いので、分からないよ！事前にこれ(半年間の報告書)があるといいですね。

(利用者家族)私は、こういう所が初めてだから、何も分からないです。だから、お任せしています。

(地域の代表者)コロナはまた流行ってきていますが、このように色々に対応して特にありません。このようにスタッフの皆さんが心一つにしてやって頂ければと思います。

(知見を有する者)担当している方が今入院中で、以前はとても良い対応で色々お世話になっていました。よつ葉をととても気に入っていて、入院中ですが「早く帰りたい、俺はあそこに行けるのけ？」と言っていたので、また、宜しくお願いします。

(地域包括支援センター)スタッフ同士でこのように対応できている事が素晴らしいと思います。コロナ感染は5類になっても拡大していますので、引き続き気を付けて行って欲しいと思います。地域との交流では、以前デイサービスではどのような事をしているのかを詳しく説明して下さっていた事があったので、是非、やって頂きたいですね。南東包括の方で来て下されば、認知症に関する勉強会等もできたり、伝える事も出来ますし、また、指定された場所でお話も出来ますので、是非やって頂きたいですね。

7.今後の活動

- 地域子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイサービスにする
- 『こども110番の家』として、小・中学校の生徒やそのご家族、学校関係者や地域の方との積極的な挨拶運動や声掛けを引き続き実施
- 地域活動参加を実施(年に数回の『生き生きサロン』や防災訓練等)

次回、運営推進会議は、令和6年2月の予定